

# 「地域で生活する障がいのある方との関わり方について」 ～災害時の困りごとから理解を深める～

桜井地区自治会連合会 宮内宏人  
小田原市障がい福祉課 山口・近藤

桜井地区「防災意識アンケート」結果より（令和2年10月実施）

① 2,644世帯のうち317世帯が「自力で避難できない人がいる」と回答

② 避難で必要とする手助けの方法として

歩行介助 . . . . . 164世帯

車いす介助 . . . . . 73世帯

視聴覚介助 . . . . . 9世帯

介護タクシー . . . . . 56世帯

上記以外 . . . . . 19世帯



③ 手助けしてもらおう人を決めているかの質問では、「決まっていない」と答えた世帯が106世帯ありました！！

高齢の方も含め、身体に不自由さがあつたり、心の病で日常生活に困難さを抱えている人への理解があれば、災害時も地域で助け合うことができます。そのためには、日頃からの関わりによる関係づくりが大事になります。今回は、精神障がいと身体（視覚）障がいのある方について、当事者の声を中心に紹介します。少しでも関わり方や困りごとについて知って頂けたらと思います。